

さくらの景観まちづくり賞



宗徳寺 あじさい



妙覚寺 さるすべり

四季を彩る花々と、
歴史を今に残す「うすい花の八ヶ寺」



実蔵院 牡丹



円応寺 もみじ

(臼井地区 八つの寺院)



常楽寺 藤



妙傳寺 梅



長源寺 枝垂れ梅



光勝寺 桜

佐倉市景観審議会からの講評

《特に優れているポイントなど》

- ・ 寺院単体ではなく、資源のネットワークとして地域の歴史や季節の自然を感じる景観を創出している。
- ・ 寺院の立地特性から優れた眺望点を内包しているものも多く、印旛沼周辺の風土にまつわる景観を感じる場としても機能している。
- ・ 各寺院の花の演出とともに、高台からの風景など佐倉市の特徴的な景観を伝えるものとなっている。
- ・ 各寺院では様々な季節を感じられ、手入れの行き届いた花々はいずれも地域で愛されている景観となっている。
- ・ 花をめぐるながら臼井を散策することができる。
- ・ 平安の太古にスポットを当てて、現存しない当時をしのばせようと、訪れる人の興味をそそるように、花をテーマに維持管理と、情報発信をする活動と、その発想を評価したい。

さくらの景観まちづくり賞



幕末創業 商家の面影を残す

「寺子屋 吉田書店」

(新町・資料展示 学び場)



佐倉市景観審議会からの講評

《特に優れているポイントなど》

- 成田街道に立地している、店蔵づくりの建造物は、地域の歴史を今に伝える景観上重要な建造物といえる。
- お店の前にさりげなく置かれた郵便ポストが建物と調和している。
- 成田街道に面し、細い格子窓、本棚など建具も含め、商店としての店構えがよく保存されている。
- 屋根・外壁など、建物の歴史と景観に配慮した形で修繕されている。
- 重厚な蔵づくり、格子窓、漆喰の壁など当時の店構えを伝えている。
- 地域資料の展示や地域に関する勉強会の場としての活用は、かつての書店、教科書販売所としての建物の履歴を生かすものであり、新町の景観重点地区の歴史的な建築物の保全・活用の好事例の1つといえる。

《その他》

- 平井家住宅など他の建物と連携し、成田街道の景観づくりに力を発揮してほしい。

さくらの景観まちづくり賞



城下町の風情を醸成する町家

食と文化が集う

「茶琴神明 時代カフェ&文化芸術スペース」

(鎗木町・店舗)



佐倉市景観審議会からの講評

《特に優れているポイントなど》

- ・ 歴史的な建築物の活用にあたり、慎重に材料を選定し、歴史的意匠を継承している。
- ・ 新町通りから少し横に入った坂道の古民家カフェは城下町佐倉にピッタリの建物で優れた景観を創出している。
- ・ 佐倉の街並みに一級品の品格を与えてくれる。
- ・ 道路に面した格子窓が横の広がり調和している。
- ・ のれん、行燈の明かりが、生活(お店)の場として暖かさを感じられる。
- ・ 旧城下町歴史景観拠点内に位置し、景観形成重点区域に隣接する本建造物は、建造物の特徴を活かした新しい商活動として注目でき、新町地区の景観まちづくりを進める上で、城下町を印象づける先導的な役割を果たしている。

《その他》

- ・ 新町エリアには街歩き客が地域の歴史を感じながら飲食を楽しむことができる施設が少ない中、ギャラリー兼カフェとして、永く当地に定着することを期待したい。

さくらの景観まちづくり賞



宿場町の面影を残す

酒蔵 「旭鶴」

(馬渡・店舗住宅)



佐倉市景観審議会からの講評

《特に優れているポイントなど》

- 馬渡宿の歴史を今に伝える随一の景観資源であるとともに、現在も酒造を営み積極的な商品・販路開発を行うなど、生きた資源として、歴史的にも、将来的にも地域の景観まちづくりを先導する役割を担っている。
- 宿場町の情景を今に伝える酒蔵は地域の重要な景観資源といえ、これまでの保全行為も非常に評価でき、受賞に値するものと考えられる。
- ファサードのリニューアルが、景観を壊すことなく継承する方向に発展させているところを高く評価したい。
- 歴史ある佐倉の造り酒屋で白壁と黒板壁の調和が見事。
- 建築物や塀なども丁寧に保全され格調高い造り酒屋の雰囲気を感じる。
- 門前に杉玉を吊り下げ、酒樽を置いて昔の酒造の伝統を守り通している。

《その他》

- アンテナショップを出店するなど、更に、城下町佐倉、新町通りと連携できるとよい。